

山寺通信 4月

新茶の時期を迎えます。これからマスコミは、お茶の宣伝が多くなっていくと思われます。全体的にみるとお茶は、今トレンドな飲み物になっています。国も農産物を世界に普及させようとしています。他の農産物に比べれば扱いが簡単なので広げやすいと考えています。現在抹茶は、世界的な広がりを見せています。静岡では、見せるお茶の施設や趣向を凝らしたカフェが多く作られています。これまで茶専門店は、補充商品の側面が多かったので販売方法を考える必要がありませんでした。これは米屋も同じで、米櫃の中がなくなれば米屋さんに頼んで持ってきてもらいました。御用聞きと配達を主体とした米専門店も経営的に利益を上げるのが難しくなり激減しています。消費の減少と買い物の変化、販売店の多様化は、お茶と似ています。米は、産地のブランド化をすすめる一方、加工方法を工夫して最終加工された弁当やおむすびがコンビニで売られていますし、ペットボトルも同じようにコンビニが一番多く販売しています。基本は知名度と販売総数がベースで売られています。全ての人を取り込む方法はありません。まずお茶をどのように考えるかは人それぞれです。そこでまずメリットとして1回分の飲むコストの安さ、経済性さらに茶器のバリエーションの多さ、またティーバッグ等の方法でストレスなく簡単に入れられます。後処理はペットボトルに負けますが味やエコの面では優位です。茶葉の説明で茶葉の簡単な味と成分で付加価値が付きまます。説明は、話さなくても、紙で表示しても良いでしょう。ペットボトルを120円以上になると高いと感じる人が一番多いと言う統計もあります。今後消費税が上がれば割高感を感じるペットボトルは不利になります。茶葉のコストパフォーマンスをしっかりと表示することは必要だと思います。

高齢化が進むと簡単な急須や割れないプラスチック急須等々の需要が増えます
さらに軽量の製品等など高齢者を意識した製品が作られてきます。



IM-001 ¥3500 250cc



極細メッシュ 160 有田焼



IM-002 ¥1500 230cc105g プラ



軽量

IM-03 ¥700 217g 8.5/H9cm



軽量

IM-04 ¥700 193g



軽量

IM-05 ¥700 218g



IM-06 ¥700

263g 8.5/H8cm



IM-007 ¥1300 7.5/H8.5

IM-008 赤



IM-009 ¥2000

IM-010 9/H8.5



IM-0011 ¥4000 清水焼